



約80人が参加した世界遺産のセミナー

(横浜市青葉区で)

# 半数が熊野を経験

## 12/20 横浜で2回目のセミナー

県地域振興課

県地域振興課は16日、横浜市青葉区で世界遺産のセミナーを開き、市民約80人が聴講した。参加者の半数以上が「熊野を訪問したことがある」と回答するなど、熊野への関心の高さをうかがわせた。

同市内でのセミナーは、10月の保土ヶ谷区天王町に続いて2回目。県世界遺産センターの速水盛康主任が「世界遺産熊野に学ぶ」をテーマに講演した。

県の担当者は「参加者の半数以上が熊野に来たことがある」と話した。熊野の魅力を感じ取ってくれているのだと思う。再訪が期待できる」と話した。

参加した50代の女性は「以前から熊野に興味があった。来春にでも行こうと計画していたところ

なので、セミナーは参考になった」と話し、語部の依頼方法などを熱心に質問した。

セミナーの開催には、地元の青葉台連合商店会、青葉台南商店会、横浜市さつきが丘地域ケアプラザが協力。青葉台連合自治会も住民に参加を呼び掛けた。